

8

AUGUST 2026
vol.586

ゆーあい

あなたがいて、わたし、がある。



<https://www.yuai.jp>



@YUAIKAI_OFFICIAL



七夕飾りを囲み、笑って、美味しいものを味わって
笑顔とともに、心あたたまる一日が過ぎていきました



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp



社会福祉法人侑愛会
8月号 令和8年8月1日発行
発行日:偶数月1日/発行所:祐川郷生/発行所:社会福祉法人侑愛会(北海道北斗市通分7丁目8番9号)

写真: 青空の下で開催された第8回「ほくと祭」

施設長に就任して

浜分こども園

園長 小林 まゆみ



こどもも保護者も職員もみんなが幸せな場所を
目指して

このたび、浜分こども園の園長に就任いたしました。平成元年に侑愛会に入職し、浜分こども園に勤めて37年目を迎えます。前園長（現佐々木若子室長）と共に、今求められる子育てニーズを考え歩み続けてまいりました。「ちいばつばクラブ」、「一時保育」、「休日保育（現在は七重浜こども園にて実施）」、「病後児保育」、そして今年度より「誰でも通園制度」等、子育てに関する様々なサービスを提供する多機能型園としての「浜分こども園」を園全体で作り上げてきました。同時に、保護者とこどもの幸せのために自分たちの姿はどうあるべきかを当時の職員と考え作り上げたのが「笑顔・元気・細やかさ・親しみやすさ・専門性」というモットーです。その姿は職員を通してこれからも受け継がれていくはずですが、園を継続していくためには職員の力が必要です。こどもたちの健やかな育ちを支えるためには職員自身が安心してやりがいをもつて働ける環境が欠かせません。そのために必要なことは、互いに助け合うこと。業務改善を図り仕事が必要になつても必ずしも幸せな職場とは限りません。みんなが助け合い感謝の言葉が自然と飛び交い、チームとして一体感をもつて働ける職場こそ幸せな職場だと感じます。モットーにあるように、相手の目をみて元気に挨拶を交わし心から感謝の言葉を伝え合うこと。そして、こどもにも保護者にも職員にも敬意をもつて日々向き合っていくことをいつも大切に、「幸せな職場（働きたくなる職場）」を職員と共に作り上げていきたいと思えます。

おしま菌床きのこセンター

園長 木口 智行



地域に根ざし、働く場を守るために

このたび、おしま菌床きのこセンターの施設長に就任いたしました。私にとって侑愛会は、幼い頃から深く関わりのある存在です。父は長年侑愛会の職員として勤め、私自身も0歳から4歳まで、ゆうあいの郷にあつた杜宅兼売店・喫茶店「フレンド」で過ごしました。おしま学園の児童の皆さんに遊んでもらった記憶は、今も残っています。そうした環境で育つた私が侑愛会の一施設を任せられることに、深いご縁と責任を感じています。おしま菌床きのこセンターは、菌床製造から栽培、出荷まで椎茸の一貫生産を行う事業所です。在宅から通う方のほか、地域のグループホームで生活する方も多く在籍しています。地域生活を支えるためには働く場が欠かせず、適切な工資をお支払いし、皆さんの生活を下支えすることは私たちの重要な役割です。一方で、椎茸事業を取り巻く状況は厳しく、円安や国際情勢の影響でコストが上昇し、全国的に生産者が減少しています。しかしそのような中でも、当事業所には各地から出荷依頼が増えており、地域に必要とされていることを実感しています。こうした状況を踏まえ、生産椎茸に加え、加工品や他品種きのこの生産など、新たな取り組みに向けた準備を進めています。継続するということは、常に変化し続けること。この言葉を胸に、挑戦を重ねながらおしま菌床きのこセンターの可能性を広げてまいります。利用者の皆さんと力を合わせ、より良い事業所づくりに努めてまいります。今後とも温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

侑ハウス

園長 鎌田 俊介



ご挨拶

このたび、侑ハウスの施設長に就任いたしました鎌田俊介と申します。侑ハウスは開設から25年が経過し、利用者の平均年齢は54歳を越えました。それにとりま、日々の支援内容も徐々に変化してきています。事業所目標である「生活力を養い、自立心を育成すること」を中心に、より一人ひとりのライフステージに合わせたきめ細やかな支援を職員全員で心がけています。いわゆる働き盛りの年代の利用者の方には、生活と仕事の両面からのアプローチを継続しています。日中活動の時間帯は責任を持つて仕事を行い、夕方から朝の時間帯は自身の生活でやるべきことに取り組み、休日や余暇の時間は充実して過ごすことができるよう支援しています。高齢の利用者の方には、介護的な支援、あるいはその備えとしての体力増進や維持を目的とした健康管理を行っています。日中活動の時間帯や余暇時間などを利用し、運動などの活動を取り入れ始めています。また、年齢に合わせた無理なく穏やかに過ごせるよう支援しています。ただ、職員の人員不足、業務量の増加は年々深刻化しつつあります。それは提供すべき支援そのものの見直しが必要なほど切迫していると感じることもあります。その中で何を大事にして何を省略してはいけないのか模索中です。一人ひとりの利用者をチームで支え、安心安全な暮らしを維持し、その人がその人らしく豊かに暮らすことができるような支援をこれからも目指してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp



初日の出

鎌田 祐司 Kamata Yuji

カラーホイル紙が大好きな鎌田さんは毎日、折り鶴を折っています。職員と一緒に折り鶴をパレットに貼り、縁起の良い初日の出の富士を作りました。



七夕

5歳児

子ども達の大好きな七夕の製作を行いました。折り紙で作られた天の川の傍には、花紙の着物を着た織姫と彦星がいます。一人ひとりの個性が出る楽しい作品となりました。皆の願い事が叶いますように…☆シ



似顔絵

作業班

まるやま荘の職員の似顔絵を描きました。職員一人一人の写真を見ながら一生懸命書きました。



にゃん太郎

小松 和也 Komatsu Kazuya

型押しのお花が周囲を飾っています。キラキラと輝く猫。「PTPシート」と呼ばれる菓の包装資材から出来ています。捨てられた包装材がアート作品となってふたたび輝き出しました。



飛行ペンギン 音楽でスマイル

共同制作

カラフルなパーツを一つ一つ組み合わせ、空で音楽を楽しむペンギンが表現されています。



世界遺産の山

Iさん

オーストラリアのエアーズロックを頑張って作りました！



にじの守護神

共同制作

チリ領イースター島にある祖先の霊を宿す守護神、モアイ像。土台に粘土を貼り付け、和紙を貼ってから筆やスポンジなど様々な素材を使って色を塗りました。



紙粘土作品

工藤 祐司 Kudo Yuji

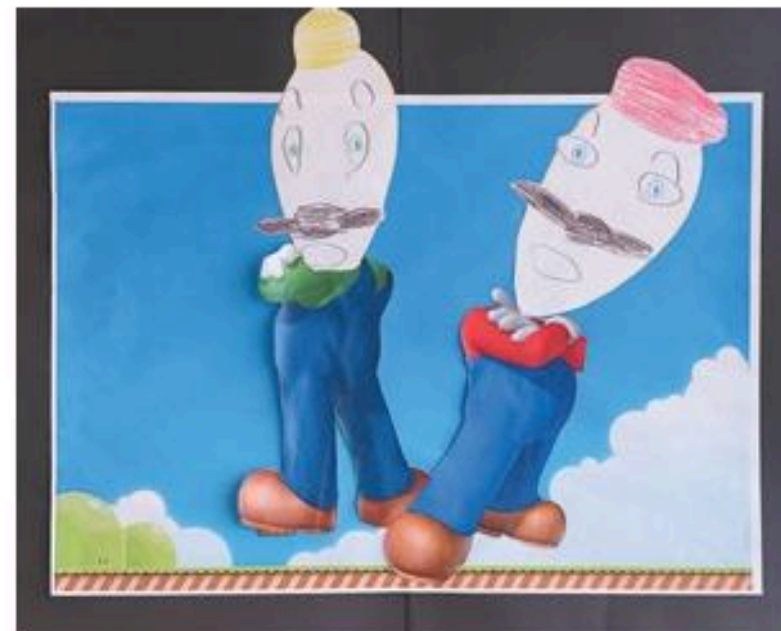
紙粘土をちぎりながら画用紙に塗り広げ、絵具で彩色しました。



めざせ!宝島

工芸班

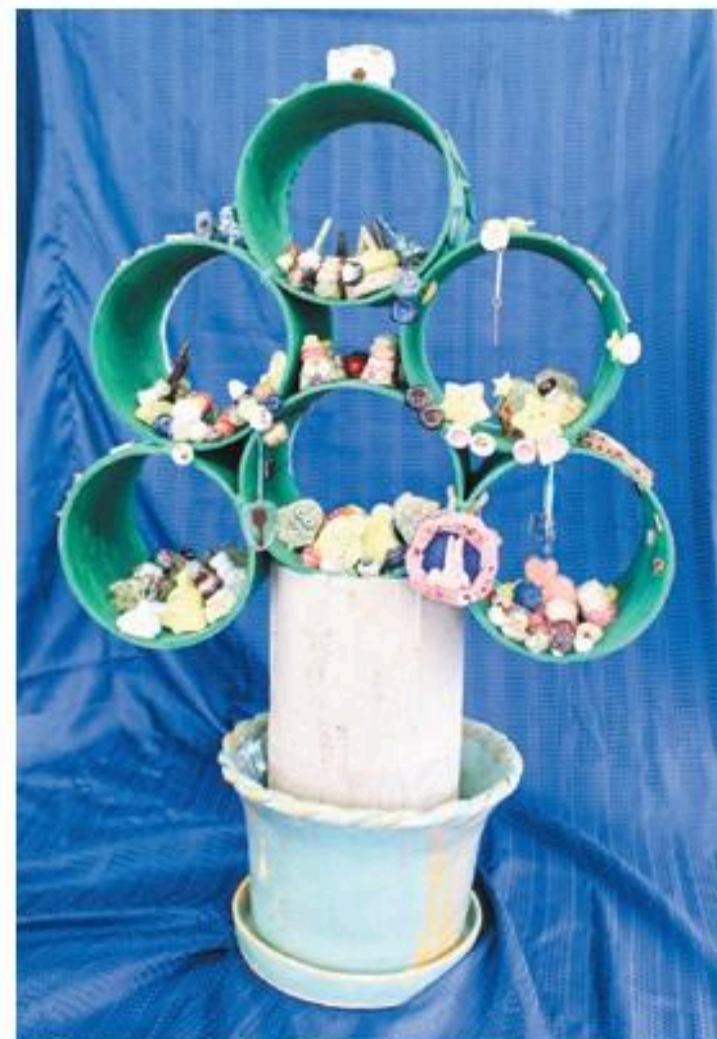
工芸班全員で協力し色塗りをおこないました。かわいらしい海賊たちが向かう先は？



マリオ&ルイージ

熊谷 彰浩 Kumagai Akihiro

4月に公開された映画を観に行った後に顔を描きました。



大集合!!!

陶芸班・クラフト班

楽しそうに行進しながらそれぞれの向かう先を目指しています。足並みは違ってもとっても仲良しな皆さんにそっくり！



スタンプアート いろいろ

共同制作

みんなで手のひらにインクを塗って、好きな色のインクやフェルトのパーツを選んで、目玉シールも貼ってスタンプアートをしました。ひよこ、象、魚、クジャク、サボテンなど、楽しい作品づくりとなりました。

gallery

ギャラリーゆうあい 2026

今年も個性溢れる作品が集まりました。素材の組み合わせや表現の豊かさなど、細部までこだわりが詰まった、素敵な世界観をぜひ、お楽しみください。



大きな桜の木

Y・Eさん

大好きな貼り絵と、お花紙で、大きな桜の木を作りました。背景の絵具は、色を混ぜ合わせるところが難しかったです。私が作った作品の中で、一番大きな作品です。



羽ばたく鳥たち

杉谷 文孝 Sugiya Fumitaka

あざやかな色彩となるよう、心をこめて描きました。



会えて良かった

鍋潟 泰子 Nabegata Yasuko

「漫画家になりたい」という夢に向い、漫画原稿用意とスクリーントーンに挑戦しました。柔らかなタッチに乗せたご自身の眩きを、ページをめくってご覧ください。



わたしのせかい

加藤 幸子 Kato Sachiko

ご自身のお好きな物・事・人、得意な『絵』で表現します。スケッチブックから飛び出した、ユーモラスで温かいえんぴつ画の世界をご覧ください。



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp